

# 平成26年度総会

## 4月26日土曜日開催

蓮田市図書館視聴覚ホールにて、平成26年度総会が開催されました。委任状を含む29名の出席があり、長嶋佑介さんが議長となり、議事が進められ「平成25・26年度事業報告・決算・予算など」1号議案から5号議案まで質疑応答の後、提案通りの内容で承認されました。平成26年度から理事に小野寺貞幸さんが加わり役員構成は以下の通りとなりました。今年度もよろしくお願い致します。

- 理事
- 田村勝彦 (会長)
  - 半田雄司 (副会長)
  - 飯島剛 (事務局長)
  - 小野寺貞幸 (副事務局長)
  - 江口保 (事務局)
  - 雲見昌弘 (事務局)
  - 若林博子 (事務局)
  - 長嶋佑介 (事務局)
  - 平賀栄美子 (事務局)
  - 斉藤恵美子 (監事)

なお、会計担当は平賀さん、書き損じはがきは

若林さん、文化遺産めぐりは江口さん、監事は斎藤さんは留任、長年事務局長としてご尽力戴いた宮崎さん後任に飯島・副事務局長として新任理事の小野寺さんが就任致しました。また地域文化遺産スタディは長嶋さん、国際文化スタディは雲見さんが担当に決まりました。今後も相互補完しながら理事全員で会の運営

## 寺子屋講座

### 児童福祉施設活動から現代社会を考える

少子高齢化時代が進行し、独居高齢者が急増しております。一人暮らしでいく現状が報じられております。高齢者が、平成47年には762万人になるとか、埼玉県は沖繩に次いで全国二番目増加率(83%)だと報じられています。

このような現実を踏まえ、社会福祉施設を運営されておられる「瓜栗一美」様を講師にお迎えして「社会福祉と介護の現

実」についてのお話をうかがいました。

大学教授時代の専門的なお話や現場での生々しいお話などから、社会福祉と介護の現実に横たわる問題点や矛盾が浮き彫りにされました。日本は法律や制度は良く出来ており、デンマークやス



講師の瓜栗さん



総会・記念撮影

にあたっていく事を確認致しました。(飯島記)

## 埼玉県ユネスコ連絡協議会

### 平成26年度 第1回 理事役員会・総会

平成26年4月28日午後2時より越谷文化会館にて埼玉県ユネスコ連絡協議会が開かれ、蓮田・白岡地方ユネスコ協会からは田村会長、飯島が出席した。

埼玉7協会の内6協会が出席、越谷ユネスコ協会の中野会長が議長となり議事進行を進めた。平成25年度関東ブロック活動研究会in埼玉の決

算報告。(総経費は助成金を含み260万円、参加181名)。平成26年関東ブロック研究会in群馬、については埼玉分担の第4分科会は草加ユネスコ協会が担当、テーマは「ユネスコ活動運営・活性化」に決定。この後、平成26年度の埼玉県ユネスコ協議会の総会に移り、平成25年度の事業報告、決算報告が

承認された。役員改選については中野会長より、関東ブロック研究会in埼玉も無事終了したとの事で辞意表明があり、平成26年度埼玉ユネスコ協会に深谷ユネスコ協会の清水國男氏が選任された。副会長は変更なし。その他埼玉県ユネスコ協会としての、研究会活動を10/12月深谷開催する旨の提案があり、洪沢栄一記念館、深谷駅見学などが検討された。(飯島記)

ウェーデンに引けをとらない状況にあるが運用面や人間性のあり方に大きな問題があるようです。専門の学問を学んだ人は、高評価、高待遇され、実際に現場で汗を流して働く人の評価、待遇とに大きな差があるようです。これらの矛盾を改善していくことが急務で、現実の質をどう高めていくかがポイントのようです。瓜栗さんは知的障害者施設を運営されてお

り、その実体験から、カネやモノではなく人間のあり方の見直しを強調されていきます。そして、そ

の社会づくりは自分から”と語っています。とまとめられておられました。我々、蓮田・白岡地方ユネスコ協会の活動も、この地域の「ふるさとづくり」を目指しており、少しでも貢献できるように頑張っていきたいと思っています。(半田記)

## 編集後記

今回初めて、会報「きずな」を作成させて頂きました。読み難い点が多々あったと思います。今後ともよろしくお願いたします。(小野寺記)

# きずな



蓮田・白岡地方ユネスコ協会

## 第10回 地域文化遺産スタディ

### 蓮田・白岡の中世(Ⅰ)開催

#### 古文書から紐解かれる英雄の動き 戦国時代を中心に

当協会の「わが町を知る」学びの場の提供と、地域理解の活動の一環としての本講座も、発足後10回を迎え平成26年2月23日(日)に白岡市「はびすしらおか」にて開催致しました。(蓮田市及び白岡市教育委員会・(公社)日本ユネスコ協会連盟後援、参加者も回を追うごとに増え、今回は137名の参加となり通路に席を追加する等、大変な盛況となりました。今回は会員や地域文化遺産スタディの参加者から

「当該地域の中世の歴史」について数多くの方から講演の依頼がありましたことに応えるべく、中世の古文書研究での第一人者である埼玉県立文書館・主任学芸員の新井浩文氏に、中世の当該地区にスポットをあて「資料から見た中世の蓮田・白岡」のテーマで講演をしていただきました。

講師の新井浩文様から当日配布された手元資料を中心にわかり易く解説して頂き、古文書や古地図から当時の周辺地域の動き、武蔵武士の誕生(鬼窪、岩附太田、洪江氏等)、群雄割拠の時代、鎌倉、北条滅亡、観応の攪乱と鬼窪氏の動き室町幕府と鎌倉府(2人の足利将

軍)、太田道灌の登場、戦国時代の幕開け、関東管領の上杉氏と長尾景春の鉢形城の乱、等、息もつかせぬ迫力のあるご講演でタイムスリップしたように中世へと引き込まれました。

何故か語られる事が少ない当該地域の中世でしたが、洪江氏開祖の白岡忠恩寺の太田資生より送られた棟別免許状(1553年)諸役免除、蓮田市、真浄寺の制札(1588年)等も話題にあげられました。「のぼうの城」で石田三成と戦い有名ななつた忍城城主、成田氏の興味のあるお話もありあつたという間の2時間でした。(飯島記)



講師の新井さん



地域文化遺産スタディ・会場

## 第70回

### 日本ユネスコ運動

#### 全国大会in知床

##### テーマは、持続可能な社会の構築を目指して 知床に集まろう！ユネスコの英知



田村会長、会場入り口にて

日程 6月7日(8日)、会場は斜里町公民館ゆめホール知床7日9時半斜里混声合唱団のユネスコの歌で幕が開いた。北海道ユネスコ連絡協議会による開会宣言、松田連盟会長の主催者挨拶、外務省国際文化交流審議官・斉木尚子氏、文部科学省国際統括官・加藤氏、北海道知事、アジア太平洋ユネスコ協会連盟名誉会長、中国ユネスコ協会クラブセンター連盟会長・陶西平氏韓国ユネスコ協会連盟会長・柳在乾氏と続き、歓迎のこ

とば斜里町長・羅白町長と続く。全国大会10回出席者表彰の後、松田会長から記念講話があった。11時30分から世界遺産の危機、石弘之氏の基調講演があった。午後からは日本の第一線で活躍中の著名な4人の学者によるパネルディスカッション「地球環境の保全を」知床から考える」をテーマで行われた。終了後、知床財団創立者で元斜里町長・牛来昌氏の提言「知床は未来に何を示し、何を残せるか」があった。

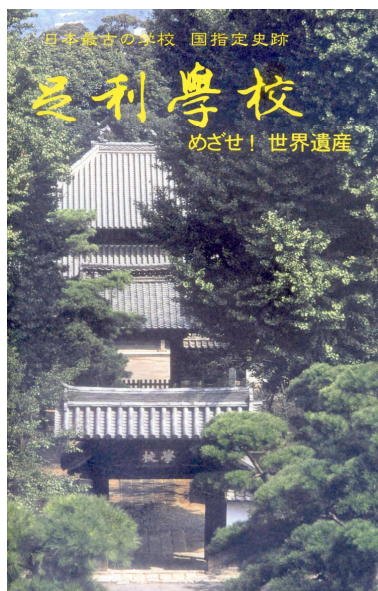
知床が自然世界遺産になるまでの苦闘認められからの問題、取り組みべきテーマを牛来氏が力強く語った。その後、ユネスコスクール加盟校の高校生による若者の集い、知床から何を学び、知床のためになにが出来るか斜里高校、羅白、清里、標津高校生が、各



ユネスコ全国大会・講演の様子

# 第10回文化遺産めぐり

## 足利市「足利学校」& 「鏝阿寺本堂」見学



### 足利ユネスコ協会さま、大変お世話になりました。

平成26年1月26日(日)寒気すさまじい日となりました。栃木県足利市の「足利学校」と隣接の「鏝阿寺」の2か所を16名の参加者にて実施いたしました。今回初めての2か所見学となり有意義な一日でした。以前より交流のある足利ユネスコ協会会長、間宵氏・副会長、堀江氏の丁寧なるお出迎えをいただきました。特に足利市民文化賞を受けられました堀江さまの懇切丁寧な説明をいただきました事は大変



参加者

が保存されているとの事です。

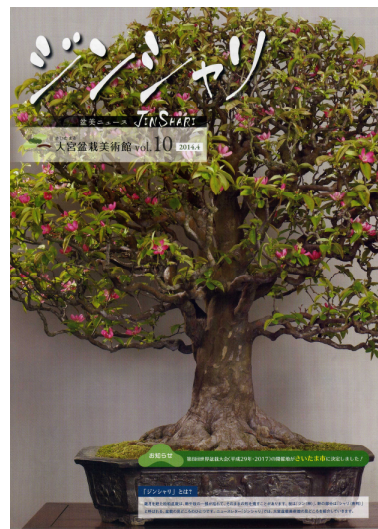
その後、隣接する足利氏の居館跡に建てられ昨年8月に国宝に指定された鏝阿寺本堂も併せてご説明見学させていただきました。

足利ユネスコ協会さまには、厳寒の中、大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。(江口記)



鏝阿寺

平成26年5月24日(土)晴天に恵まれ12名の参加者にて実地いたしました。前回に引き続き2か所を見学となりました。総合的な盆栽文化を発信する世界で初めての公立の「盆栽美術館」として①盆栽に関する研究センター、②さいたま市の新しい観光拠点、③盆栽活動活性化の一助を方針と掲げて設立され、2017年に「世界盆栽展」が予定されており、学芸員さんより室内展示に部屋の格式を「真行草」の3つの座敷飾りにそれぞれに合わせた盆栽の飾り



# 第11回文化遺産めぐり

## さいたま市「大宮盆栽美術館」& 「埼玉県立・歴史と民俗の博物館」見学

方のご説明いただきました。

徒歩にて盆栽村を通り、次の「歴史と民俗の博物館」に着きました。ボランティアガイドさんの能弁でユーモアたっぷりのご説明を頂きました。蓮田市の寅子石(レプリカ)に、実物と展示されて室内での大きさに圧倒されました。鎌倉時代の1300年代辻谷の里の長者に寅子という美しい一人娘がおり若者たちから縁談の申込が絶えませ



寅子石(蓮田市)

### 「書き損じハガキ・キャンペーン」について

書き損じハガキがご自宅、会社、引出に眠っていませんか？書き損じ回収箱、白岡郵便局にもご協力頂き設置しました。



ATM横面

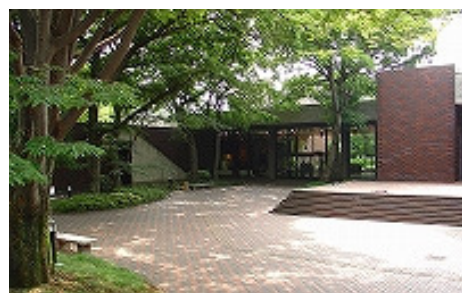
これにより蓮田郵便局、蓮田駅東口郵便局、西新宿郵便局の4ヶ所に設置することが出来ました。世界には学校に行けない子供達が5700万人います。例えばカンボジアではハガキ11枚で1か月教育を受けられます。

平成25年度、当協会では書き損じハガキ528枚 現金2320円 テレカ410度 切手3枚を寄付して頂きました。世界の読み書きが出来ない人々に・・・眠っている書き損じハガキを、是非、回収箱に！当協会では途上国の識字

んでした。娘はどなたかの所へ嫁いでいいのか悩んだ末自害し、供養塔が建てられこれが寅子石と呼ばれるようになったとの説、高さ4mで二番目の大きいもので県指定有形文化財・考古資料となっております。



大宮盆栽美術館内・参加者



埼玉県立・歴史と民俗の博物館

率アップに貢献してゆきたく、よろしくお願い致します。

### 第12回文化遺産めぐり 次回11月15日(土)

#### 日高市 高麗神社を見学 予定しております。



高麗神社見学 高麗神社は「高麗神社」と記されています。明治33年に当社を参拝した朝鮮王親の貴族階級成の藩によるものです。当社の御祭神の故国「高麗(こうり)」と後に興った「高麗(こうらい)」を区別するために、高麗神社の高麗の間に「高」の文字が小さく入れられています。当社の由来を一目で理解していただけるため、そのまま願ひして掲げています。なお、高麗神社と似たことは一度もありません。ご参拝の際は是非、一見下さい。



御社殿・御本殿 蓮田の御社殿は昭和49年(1974)から行われた境内整備の一環で建てられました。東京府立大学野原伊豆史学部による設計です。御本殿は一間社流造りであり、中世・安土・徳川時代の建築と見られており、埼玉県の重要文化財となっており、国の重要文化財に指定されています。御本殿は、境内の御社殿が建つたのと同じ一年、後醍醐天皇の御代に建てられ、高麗神社は氏子より御社殿が奉納されました。

### たくさんのお待ちしております。

### 会員紹介

#### 井上 和子 (いのうえ かずこ)



#### 松沢 晴子 (まつざわ はるこ)



① 埼玉県加須市出身、川崎で生まれましたが、疎開で加須市に移住しました。  
② 学校卒業後、会社勤めをしました。結婚して白岡に住んで47年になります。  
③ 明るい社会作り会のボランティアを少しですがお手伝いをしております。趣味は編み物とグラウンドゴルフをして楽しんでおります。ユネスコ協会へは、長年友人としておつき合いをしています。平賀さんの勧めで入会いたしました。これから宜しくお願ひいたします。

#### 山口 京子 (やまぐち きょうこ)



① 新潟県加茂市出身  
② 26年前、蓮田の山口眞司と縁あって結婚をし市民になりました。その後、蓮田市議会議員として15年たちました。蓮田で子供を産み育てながら、私も大人として育てられたと思っております。末長くよろしくお願ひいたします。  
③ 勉強させて頂いたユネスコスクールを議会で取り上げました。同じ会員の西山教育長がすでに推進の準備をしているとの答弁で、ユネスコの考え方の大切さを改めて知りまし

#### 小野寺 貞幸 (おののでら さだゆき)

① 山形県酒田市生まれ。江戸・明治時代に栄えた日本海側の港町です。  
② 昭和46年に上京、某家電メーカーの子会社で医療情報機器の販売・管理等を手掛け3年前に定年退職いたしました。埼玉県には22年前に移り住み、この地域を全く知らずに都内通勤のサラリーマンを過ごしてまいりました。老後は、前職の仲間とゴルフ・飲み会だけで将来のことを考えると少し寂しさを感じておりました。  
③ 当ユネスコ協会を通じ埼玉を学び、家族がお世話になったこの地域に何か貢献出来ればと思っております。